

TOKYO JC NEWS

~ Let's Tokyo JC 's Hot Communication! ~



JC宣言
日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

綱領
われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るく豊かな社会を築き上げよう

今、動き出す「志民社会」

— Jayceeから起こす、限りない推進力(ちから)を東京から —

2002.11.15
vol.395

VISUAL CONTENTS



理事長対談
(財)日本サッカー協会会長 川淵三郎氏2



9月例会が開催されました
新日本創世フォーラム「日本V計画」4



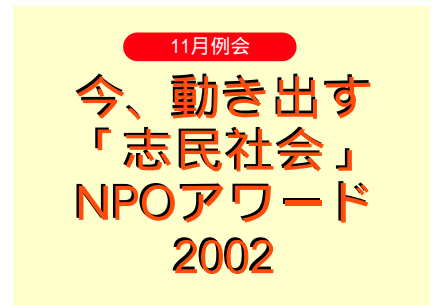
10月例会が開催されました
「今、教育の原点を問いたです」4



2003年度
東京青年会議所 役員一覧6



事業レポート
各地区委員会レポート8



11月例会が開催されます
今動き出す「志民社会」NPOアワード200212

contents

- 5 ちょっとおじゃまします
LOM便り
気になる一冊
- 9 委員会便り
- 11 TWOWAY COMMUNICATION
 - ・ Welcome New Member
 - ・ 今月のフレッシュマン
JCの魅力、再発見
- 12 12月例会が開催されます
第108回定時総会のお知らせ

理事長対談

第4弾

平成14年 9月24日(火) (財)日本サッカー協会で
出席者:(財)日本サッカー協会会長 川淵三郎キャプテン
西野晃透(社)東京青年会議所理事長



カーの普及、地域協会の自立と小さな政府としてのJFAなど数々の目標と改革を掲げエネルギーに活動するチェアマン改め「キャプテン川淵」を、渋谷区道玄坂の協会事務局に尋ねた。

理事長対談第4弾は(財)日本サッカー協会会長・川淵三郎氏。日韓共催2002FIFAワールドカップを大成功に導き、ほっと一息と思いきや、休む間もなくサッカー界の総元締め日本サッカー協会(JFA)会長に就任(7月20日)。JFA登録200万人、女子サッ

西野理事長 この度は日本サッカー協会会長へのご就任、おめでとうございます。早速ですが先のワールドカップの成果と成功の部分をどのようにお考えでしょうか。

川淵キャプテン ワールドカップが開かれる前に、経済波及効果はどれくらいかなんてことを興味と関心の的のようには言われましたが、経済波及効果は一過性のもので、そのためだけに開くのではなく、日本を世界に発信し、日本人を世界に知ってもらい、日本人が多くの外国人と触れ合うことによって国際交流が促進されるという後に残ることの意味のほうがよほど大きいと思います。経済波及効果という言葉一つで括ってほしくなかった。

経済大国、立派な自動車や工業製品をつくることは知っていても、日本の文化や歴史や伝統は何も知らない。それを世界から来た新聞記者によって世界中に発信されました。それが日本の将来、日本を理解してもらう上においてどれだけ大事なものであるかを、初めてみんなが知ったのではないですか。そのときに得た感動が将来の夢につながるようなことが日本国中にいっぱいありました。それがワールドカップの持つ意味です。

西野 きょうは3つのポイントでお話を伺いたいと思います。1つは国家観、2点目は地域社会のあり方、3点目はキャプテンになられて組織運営のマネージャメントの部分です。ワールドカップを通じて日本人に不足しがちだった国家観をすごく意識した数ヶ月だったと思います。私もロシア戦を子供と二人で観戦しました。若いサポーターが圧倒的に多い

中に私もいたんですが、ロシア選手の入場やロシア国歌が流れるとブーイングをする。腹が立って「あんな大人になってはいけなよ」と子供には言ったんですが、こんどば「君が代」斉唱のときに子供は歌ってないんです。聞く「学校で教わっていない」といいます。大変ショックで国とか国家観というものが無いことを改めて感じさせられた期間であったのですが、国家観というものについてキャプテンはどのようにお考えですか。

川淵 ワールドカップは世界204カ国が参加する最大のイベントだけに、自分の国を意識せずにはおられない大会です。ただ、最低の礼儀の相手の国歌を演奏するときには静かに聴くことを知らない日本人は国際性がないと言われてもしょうがないです。こういうものを通じて国際感覚を養うことは大事ですが、そういった意味では、無気力・無感動・無責任の若者がこのように一体感を持って一つのものを応援する現象が何物にもかえがたい。自分が応援する対象、誇りとなるものがあることから国家意識が多少芽生えると思います。

西野 サッカーの持っている可能性の部分でしょうね。世界中でこれだけ注目されているサッカーだからこそ、結果、ナショナリスティックな国家観につながるといっていいのではないでしょうか。

川淵 いい意味での国を愛する気持ち、国にプライドを持つ気持ちがそこに現れているのであって、それは国粋主義者とか軍国主義者の言い方でのナショナリズムとは異質のものです。しかし、そういうものがあることがわかったことは凄く大きな

ことです。西野 確かにこの盛り上がりプラスにしないといけないですね。純粋に国というものを意識したことは間違いのない事実です。ただ相手国をブーイングしたりすることはまだまだ国に対する本物の意識を持っていないということですね。これを良い機会にしていかなければいけませんね。もう一つの側面として、韓国との共催ということと世界の中のアジア、アジアの中の日本と韓国という部分で、サッカーだけではなく経済的な面も含めてアジアを引っ張っていかないと12つの国ですね。日本と韓国が自覚していかなければいけないリーダーシップの部分はどうにお考えですか。

川淵 日本は「アジアの中の日本」ではなく「アジアと日本」という言い方をしますが、これが「日本は別格」という言い方ですね。そういう意味からすると、韓国との共催は世界の中のアジアという意識を植え付けるためにもよかったです。韓国では反日教育的なことをやっているから、国民全体が日本にいい印象を持っていません。そういう中で日韓共同開催が行われて交流が増えたことによって、日本人は結構いいじゃないかと日本人を正当に評価する動きが芽生えてきたし、日本人も韓国との積極的な交流が今まで以上に進むことによってお互いを理解し始めたということでは、これですべて歴史的なわだかまりが解けるなんて甘いものではないですが、いいきっかけになることは間違いのないです。

西野 韓国国民が対日本という意識をいろんな面でパワーに変えて国力強化や意識啓蒙に繋が

炭焼ステーキの贅を識る。

選ばれた良質の三田牛と磨かれた技が創る最高のおもてなしを。

コース料理のご予約はお二人様以上でお申し込み下さい。

美味さ・技術の追求
「黒毛和牛(肉牛)」と云われる品種の産地、三田(但馬)・近江・松坂などでは、古くから血統による管理を行い、子牛より登録、氏・素性が明記され、血統書により飼育・管理されます。子牛の父・母・両方の祖父母・曾祖父母及び繁殖者が明確に解る仕組みになっております。又品質の高い黒毛和牛は少数頭を一軒当り2~3頭、多い人で10頭程度の飼育と少なく、きめ細やかな愛情を込め、育てられます。値段的には高価ではありますがこの管理された黒毛和牛の肉質を、会社創業以来追求し続けそれに見合う、焼く技術を持っていると自負しております。どうぞ美味しいステーキをお召し上がり下さい。

自然の恵&ステーキは.....

炭焼ステーキディナー(11月コース料理)
イラン産フレッシュキャビア「オシエトラ」カナパゴリ歐風
活伊勢ロブスター姿茹でゴリ歐風
北海道産活帆立コキールゴリ歐風
ビーツサラダ
炉焼温パン・温野菜
但馬三田牛炭焼ステーキ
自家製ヘルシーケーキ
特製ブレンド布ドリップコーヒー
お一人様 ¥18,000(税・サ別)

創業19周年記念特別晩餐会開催
期日：平成14年11月16日(土)
特別メニューと銘醸ワインをご用意しております。
お一人様 ¥18,000(税・サ別)
予約限定18名様 お二人様以上でご予約下さい。

年末は12月30日まで年始1月4日より営業

分店 築地STEAK

103(3543)7214 営業時間12:00~23:00
定休日/第2日曜日のみ カード(DN・AX・DC・JCB)有

ゴリ欧

Own Peerless Beef
ひとつひとつに個性があるSTEAK

麩皮 霜月(11月)炭焼ステーキディナー
日本海産メジコの備長グリエ
房州産活ワタリ蟹姿茹でコニヤック風味
瀬戸内海産活朝巻老若のサラダ
炉焼温パン・温野菜
特撰三田牛炭焼ステーキ
静岡産マスキロン
特製ブレンド布ドリップコーヒー
お一人様 ¥45,000(税・サ別)
旬の逸品

秋鮭の自家高温薫製... ¥4,000
伊勢湾産活伊勢海老の備長グリエ... ¥時価
オホーツク海産活帆立貝のカクテル... ¥3,000

秋の美食会開催のご案内
期日：平成14年11月23日(土)

特別メニューと銘醸ワインをご用意しております(要予約)お一人様 ¥45,000(税・サ別)
詳しくはお問合せの上、ご確認下さい。
特別メニューの為、全ての優待の使用はできません。

年末は12月28日まで年始1月4日より営業

麩皮

103(3591)8765 営業時間12:00~23:00
定休日/日曜日・祝日 カード(DN・AX・DC・JCB)有

御贈答用

本店 新橋 麩皮
謹製三田優秀牛
すきやき・しゃぶしゃぶ
焼焼用に。
又、ローストポーク等。
各店にてご予約承ります。



っていたと思うんですが、今回の共催でより日本を知る機会が増えて我々世代ではすぐストレートに話し合える機会になりました。姉妹JCのソウルJCと東京JCで北朝鮮を如何に国際舞台上に上げるかを話し合ったり、「本音で共催ワールドカップ2002」という少年サッカー大会を5年間やってきました。昨年は歴史認識問題で両国政府がギクシャク大会も中止になったんですが、逆にそのことが何故サッカー大会が中止になったかを子供達に教える良い機会になりました。気持ちの面で我々世代はわだかまりがかなりなくなってきて、前に目標を持って進めていけるような雰囲気です。

川淵 日韓の場合、韓国の言い分は日本は歴史認識をした上で交流を深めてほしいということですね。これを日本人が聞くときに常に一步譲らなくてはならない、謝罪を含めて負い目を感じながら交流を進めていくように捉えられがちですが、今回の共催を通して私はちょっと違うなと感じました。歴史認識さえしっかり持っていれば歴史はこうだけれどこれとそれとは違うよと言います。過去は過去、今は今、対等だというその姿勢をしっかりと持つことですね。そういう点ではJCの持つ意味は大きいです。これからの日本の経済を背負って立つ人が中心になって交流が進んでいくというのは、将来に向かって明るいすよな。

西野 今年訪中して学生との対話を通じて感じたのですが、各国の留学生が日本にきて政治の話をする日本若者は仲間外れになってしまふということですね。日本の学生の政治に対する無関心さがこれからの日本にとって大変まずいと思います。他の国の若者は自分の国の政治に対してすごく関心を持っています。

川淵 拉致問題にしても今は大きな問題になっていますが、以前は被害者家族が訴えても相手にされませんでしたね。若者は国のことを語らないことがカッコイイことだと誤解しているように思いますが、結局は自分が損することです。

西野 東京JCでも地域で取り組んでいる少子化問題が大きな影響を与えています。サッカーだけではなく、特に中学校世代にスポーツ、部活動が成立しない姿があります。それを最終的には地域で支えていく地域コミュニティーのあり方がリーグの100年構想の中でも訴えられている部分だと思いますが、その辺で一番危惧される部分はどこですか。

川淵 進学という面を見た場合に、中学校というのはそこでレベルが分かれてしまう面でのプレッシャーが学生も先生方も持ってしまう一番悩みに近い年代で、それが全部影響してしまっていると思います。人間にとって勉強がすべてじゃない、

部活動・文化活動でコミュニケーションをとって人間を高めていく活動は、中学年代には一番必要です。一番伸びる時期だし、一番感受性の強いときですから、精神的に一番不安定な時代です。その心の安定という意味においては、部活動・文化活動はどうしても必要です。父兄がそういう中にもっと参画して、いい成長の過程を中学年代に得られるような努力をすべきです。先生方がやってくれると思う今のあり方自体が問題だと思います。

サッカー界としては指導者をそこに持って行って教えるとか、一つの中学校で部活動ができないのなら二つ三つ合同でやるだとか、今までの延長線上でない物の考え方をしないと子供たちは教えないです。中学生の立場で何が一番大事なのかを考えるべきです。

少子化によって余った施設を、地域社会・子供たちとともにどう活性化していくかというのは、JCのやる仕事だと思います。

西野 台東区の公立中学はサッカー部が一つもないと聞いたことがあります。4年前に来て頂いたときに東京FCの協力を得て翌年に統廃合を控えた区立の中学校二つと、同じ地域の中にある進学校と朝鮮中学のフットサル大会を廃校になる学校でやりましたら、その町の中では凄く盛り上がりつつ交流ができたと思います。ツールとしてのサッカーの可能性を感じました。ただそこには中学校ではサッカーの部活動が出来ないという背景があると思いました。

川淵 東京JCがそういうことに取り組んで成功例ができると、日本全国のJCがみんな真似します。そこに儲けが有りますよな。

西野 今回、JFAのキャプテンになられて、小さな政府を目指していきたいという言われ方をされていますが、これは各都道府県の会長に地域は地域でしっかり考えて運営していただきたいと思いますが、その考え方をお伺いしたいと思います。

川淵 サッカー協会が中心になって200万人の登録人数を増やすだとかリーグ戦方式にするだとか女子サッカーをとかといろいろやると、協会の職員を物凄く増やさなければいけません。そうじゃなくて、その地域の協会が中心となって運営も全部やる。経済的な部分の負担は、自分たちでそれなりの財源を確保する努力もするが、そういうことに対する費用は、予算を精査した上でサッカー協会が今まで出さなかったくらいのお金を出しなさいということです。地方が自立していくことによってより内容が充実していくし、サッカー協会は最低限の小さな組織でとどまり得るというのが僕の考え方です。

西野 今、政治の世界でも地方分権・地域主権型社会で地域が自立していかなければいけないという話の中で、まさに通じる部分ですね。

川淵 やる気のあるものは刺激して、お金の面でもサポートしてとどろんとやることによって、下が「やらないとまずい」と思うことで底上げするのが一番手取り早いんです。

西野 キャプテンは今の日本には少なくなったカリスマ性を持たれたリーダーだと私は思っていますが、チェアマン時代に100年構想を掲げて精力的に動かれましたが、川淵さんは100年待てる方ではないと思います。早いスパンで理想にいかにか近づけていくかの構想は持たれていると思いますし、それを実現できる能力をお持ちの方だと思うのですが、今、キャプテンとしては、夢とそれを実現するスパン、どうやって実行するかについては、どんなことをお考えですか。

川淵 100年構想というのは、100年かけてもやり

遂げるぞという強い意思の表明であって、100年かかるとは思っていません。しかし、市民の人がクラブを心から応援しようとなるまでには時間がかかるので簡単にはいきません。でも、チームやクラブの持ついき方によって短期決戦も可能です。そういう強い信念と強い理念と哲学を持っているところでない、軸がぶれるとすぐ瓦解してしまいます。確固たる自信を持っているのは30年継続して初めて足が地についたと言えるんじゃないか、それぐらいの気持ちでないと思ってしまう部分もあると思います。しっかりした理念をもって、各クラブがそういうことをちゃんとやっているんだということを世間に十分アピールしないと、なかなか理解は得られないと思います。サッカー協会に限って言えば、僕は定年から逆算すると会長を6年やれます。しかし、4年ぐらいでけりをつけたいと思っています。その間に、一番大事なのはスピードで、のんびりしてられないからとどろんとやります。聞くとは聞きません。しかし、そうであってもこうするよというトップダウンのやり方で、この4年間、リーグを引っ張った以上の力でサッカー協会を動かそうと思っています。

西野 そういった行動力、リーダーシップを日本の国や各自治体の長が持ってほしいと思いますが、サッカーが注目を浴びている中でキャプテンの手腕を拝見させていただきます。目標が達成されつつある時は是非お話を聞かせてください。

川淵 目標を設定して、それを公言して、それを実行に移すことが大事で、具体的な目標設定をしているところが僕のやり方です。そうでないと空念仏になってしまいます。

西野 今日はリーダーシップや改革のヒント、大きな覚悟などを聞かせていただきました。我々も刺激をいただいて、青年会議所も地域の中をいろいろ変えていくことを使命と思って、志を持ってやっていきたいと思っています。ありがとうございました。



川淵三郎キャプテンのプロフィール

神奈川県藤沢市出身 1936年12月13日生れ、早稲田大学政経学部を経て1961年古河電気工業(株)入社、早稲田在学中の58年には日本代表に選ばれ、59年ローマオリンピックアジア予選、60年ワールドカップチリ大会アジア予選などに出場、72年まで古河電工サッカー部でプレーし、64年東京オリンピックに出場。その後JFA日本サッカー協会理事、JFAプロリーグ設立委員会準備室長を経て、1991年11月に社日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)チェアマンに。94年5月、JFA副会長就任。2000年6月、(財)2002年FIFAワールドカップに本組織委員会副会長、2002年7月、(財)日本サッカー協会会長に就任。

▶キャプテンについて...日本全国でサッカー協会の会長は各行政単位で1000人以上も居り、川淵会長自身、会長と呼ばれど非常にかしこまった感じを受けるということから、全国のサッカー協会会長のまとめ役という意味で「キャプテン」と呼んでほしいという、本人の希望があったことから。

～(社)東京青年会議所9月例会～ 2002年9月7日開催

新日本創世フォーラム「日本V計画」



東京青年会議所9月例会は、日本青年会議所関東地区協議会(井下泰伸会長)主催の新日本創世フォーラム「日本V計画」を後援する形で、9月7日(土)午後2時から同協議会会員、一般参加者、東京JCメンバーなどおよそ900名が参加して東京厚生年金会館で開催された。



第1部では石原慎太郎東京都知事の「21世紀の広域行政 この国の私たち」と題するビデオメッセージが流された。石原都知事は「明治初期の太政官制度のときに出来た都道府県の行政区割りがいまだに続いている。今は環境問題、危機管理など広域行政で対処しなければ解決できない課題がたくさんある。地方分権一括法という法律があるが、国の進み方は東京都の2分の1以下、東京都は民間の2分の1、民間から国を見ると5分の1の進み方で遅々として進まない。地域の自主性、特性を踏まえた新しい行政を果敢に展開していかなくてはならない」と持論を展開した。

第2部は太平洋セメント(株)相談役・諸井虔氏が「地方分権の目指すもの～地域主権型社会とは」をテーマに地方分権推進委員会での議論内容、地方分権



諸井氏

の目指すもの等に関し、45分にわたって基調講演し、「これまでの日本は中央集権、官僚主導でやってきたが、もはやこのシステムでは動かない。地方分権、地域主権というのが道路、河川、鉄道、公安、空港全てからなので各省と厳しい協議をしなければならない。道州制が良いのか、連邦制まで行くのか、権限・財源の問題も踏まえて地域主権問題を考えていくべきだ」と問題提起した。

第3部では東京青年会議所政策顧問・村田浩敏君が地域主権型国家へ道州制の導入などを骨子とした提言を発表した。

第4部は「新日本の在るべき姿」と題して諸井虔氏、栃木県知事・福田昭夫氏、作家・猪瀬直樹氏、ジャーナリスト・篤信彦氏、コーディネーター・千葉商科大学助教授・宮崎緑氏の顔ぶれで、JCのプレゼンテーションを元にパネルディスカッションが行なわれた。篤氏は「今の日本にかけ

ているものはミッション、パッション、ファッションつまり構想力と志だ。地方の主権を確立するときには自己責任は相当覚悟しておかないと出来ない」と主張。福田知事は「地域の自立には税財源の移譲が必要、消費税を全て地方税にすべきだ」と述べ、猪瀬氏は行革断行評議委員、道路公団分割民営化推進委員としての立場から「今は自己責任でリスクを取って生きていく時代だ。民営化は自力で生きなさいということ、国の中心が国営企業になっているので解体し市場化して経済活性化に繋げたい」と語った。諸井氏は「企業トップの最大の責務は企業が社会のためにプラスになっているか否かを自己評価して、マイナス部分は社会にプラスになるよう懸命に切り替えていくこと」と述べた。およそ1時間半に渡って税制改革、特殊法人改革、地域性・多様性のある教育、地域自立型への税財政システムの改革等について熱のこもった議論が繰り広げられた。



詳細はホームページでご確認ください。
<http://www.tokyo-jc.or.jp/>

～(社)東京青年会議所10月例会～ 2002年10月9日開催

「今、教育の原点を問いたただす」 ～社会の必要性から見た教育とは～



東京青年会議所10月例会は「今、教育の原点を問いたただす～社会の必要性から見た教育とは～」をテーマに、会員、教育関係者、来訪などおよそ350名が出席し10月9日午後6時20分から京王プラザホテルで開催された。

第1部では東京JC教育連携事業のビデオ報告が行なわれ、今年開催した「かつしかWonder-School」「クリエイティブARAKAWA」「KOTO寺子屋実習」などのビデオが上映された。

次いで、(学)日本航空学園理事長・梅沢重雄氏が「教育の原点とは」と題して基調講演。梅沢氏は「親はなくとも子供は育つ。然し、教育をするのは、かくあるべきであるとか、こういう人間に育てたいという目標があって初めて教育の存在がある。これが動物と違う点だ」と語り、日本航空学園の人材育成法や日本航空高等学校の生徒の一日など具体的事例を挙げながら、規律教育の目的の一つは日本の



梅沢氏

文化・伝統に基づく国家観の継承であり、これを受け継ぎ生まれた子供たちが次代を担うべき公共心を伴った大人に育っていく事を、教育の現場から訴えた。

東京青年会議所教育政策委員会からの提言をはさんで、第3部パネルディスカッションは「社会の必要性から見た教育とは」をテーマに、パネリストに評論家・教育改革国民会議委員・大宅映子氏、中学校教諭・教育改革国民会議委員・河上亮一氏、日本ガーディアンエンジェルズ理事長・小田啓二氏、コーディネーター・東京JC教育政策担当理事・外山一宏君の顔ぶれで行なわれた。



大宅氏

大宅氏は「公共心を育てるのは家庭という一番小さな社会単位。家庭の中で自分の思い通りには行かないんだということを教えなければいけない。自分の責任は自分で取るだけではなくて、人がやったことでもたくさんの方が一緒に生きていくためにはここで手を出してちゃんとやらなくてはダメ、というしつけもなくてはいけない」と主張。河上氏は「30、40代の教師は豊かな個人第一の時代に生き



河上氏

ているので、現在の生徒の動き方と矛盾がない。然し、学校教育の改革を考えたとき、この教師たちの体を直さない限り難しい国民としての歴史、文化、伝統を頭で学んでも意味がない。体をそらすためにはかなり具体的な動きを伴う必要がある」と述べた。また、小田氏は「コミュニティー」のラテン語の語源は共に守りあう義務があるということ。大人が放棄し思いやりや他人を尊重することがなくなったら社会が崩壊してしまう。見て見ぬふりをしないで社会が無関心になっているところを個々の立場で進んでやろうと呼びかけた。



小田氏



外山君

物質的豊かさに恵まれた現在、逆に人間関係の希薄化、規範意識の低下が問題になっている。今こそ国家観、教育観を持った大人が覚悟を決めて「家庭、学校、地域」で各々の役割を果たさなければならないとの観点から、現代における社会教育の責任・義務・役割を問うディスカッションが1時間半に渡り繰り広げられた。

詳細はホームページでご確認ください。
<http://www.tokyo-jc.or.jp/>

ちょっとおじやまします!

(社)東京青年会議所 事務局訪問

(社)東京青年会議所 事務局

年初に永年住み慣れた馬場先門の東商ビルから平河町のJC会館ビルに引っ越しして早1年近くが経とうとしていますが、特に地区委員会をベースに活躍されているメンバーによっては、まだ一度も訪れたことのない方もいらっしゃるかもしれませんね。念願だった専用会議室やサロンも併設され、毎日委員会やスタッフ会の場として

今回の「ちょっとおじやまします」は、我々メンバーにとって馴染み深いのに、さてもすると縁遠くなりがちな事務局にお邪魔しました。取材当日はちょうど長岡専務理事と杉井事務局長の打ち合わせ中でした。写真でもお分かりのとおり理事長と専務理事の専用机もあるんですよ。

利用されています。空きがあればどこの委員会でも無料で利用できますので、詳しくは委員会の担当事務局員に尋ねてみてください。事務局長から「どうぞお気軽にお立ち寄りください」とのメッセージをいただいていますので、近くをお通りの際には遠慮なく顔を出してください。

広報特別委員会
副委員長
田賀谷 浩



LOM 便り

八王子JC

私ども(社)八王子青年会議所は、1966年に日本で330番目の青年会議所として明るい豊かなまち・八王子を創ることを目標として設立されました。それ以来、「献血運動」の推進、「八王子森林パトロール隊」の運営、市民参加による「浅川清掃運動」、「彫刻シンポジウム」や「林間彫刻教室」などを事業展開し、その多くが市民の皆様によって継承され、現在に至っています。

最近では、中心市街地活性化を目指した「ファッションブルエスタ」の開催やスポーツNPQ 総合型地域スポーツクラブ 設立を目指した運動展開、またアントレプレナー(起業家)発掘を通してのひとりづくり、まちづくりを目指したニュービジネスアイデアコンテスト(NBI)等の開催をしております。そして、昨年は創立35周年記念事業の一環として、自然体験型の青少年開発事業「元気にチャレンジわらハッパ隊」(於:タヤケカヤケふれあいの里)を実施しました。これまで社八王子青年会議所はまちづくりを多方面から捉え運動展開し、多くの市民の皆様に参加して頂いて参りました。

本年度のスローガンは「自助努力 希望の帆をあげ 次世代への出発」です。「明るい豊かな社会」は誰が創ってくれるわけでもありません。我々(自分)が一步一步、築いていかなければ何も始まりません。今年には1967年に結隊された八王子森林パトロール隊の結隊35周年にあたります。八王子森林パトロール隊のホームグラウンドである高尾山において、市民の皆様へ感謝すると共に、人、自然とのふれあい、そしてコミュニケーションをテーマに事業を企画しました。皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

2002年度(社)八王子青年会議所
理事長 加藤 直也

気になる一冊

「コリアン世界の旅」(講談社刊)
野村 進著 定価 ¥1,748 (税別) 372 ページ
講談社 文庫 定価 ¥880 (税別) 479 ページ



長岡信裕
(ながおか のぶやす)
S37.9.15生 O型
91入会、1999年度副理事長、
2002年専務理事
コワモチの裏に潜む優しさ
にお気づきですか...

この本は、たまたまぐらゝと本屋に寄った際、平積みされておりました手にしたのですが、目次に目を通した瞬間すぐにレジへ向かっておりました。なぜなら、在日韓国人である私にとって非常に身近ではあるが、しかしなかなか人には話づらい内容がこの書には書かれていると直感したからです。

出版会では、在日物、コリアン物と言われる本は売れないというのが常識だそうです。その中でベストセラーとなり、大宅壮一、講談社両ノンフィクション賞をダブル受賞したこの書は、著者の並々ならぬ相当な努力があったことと思います。

さて本書は、日本人が読んだら在日コリアンの生きてきた過程を非常にわかり易く理解できることでしょう。また、在日コリアンが読めば良くぞ書いてくれたという感謝の念を抱く世代と、また、我々若い世代は、改めて一世達が苦勞を乗り越えてきた偉大さに感謝すると共に、幼少時に体験した被差別を思い出させられるそんな書であります。

阪神大震災の直後、神戸の朝鮮初中級学校の校庭に張られたテントの中

で、関東大震災時の恐怖を経験している在日朝鮮人老人と日本人の老人との会話があります。

「今回こうして仲良うできるのはありがたいこっちゃなあ」

「日本の中でも、あんたみたいに助けてくれる、ええ人があらんやねえ」

「これからはみんな仲良うよなあ」と言て手を握り涙を流したそうです。この会話の背景にある、時代の流れを感慨深く感じました。

北朝鮮による拉致問題を始め、まだ多くの問題が山積しております。お互いが自分の利益のみを追求し自己主張ばかりするのではなく、ワールドカップで一つになったように、本音で語り合える未来を思慮的な関係を確立できればと心から願います。


皆様も、是非一度お読みいただき、それぞれの立場で改めて日韓・日朝問題をお考え頂ければと思います。

IT時代のビジネスツール・写真入り名刺!

あなたの名刺にアドレスを

“名刺からはじまるコミュニケーション”
IT時代、E-mailがビジネスにおける情報交換ツールとなった今、E-mail・ホームページのアドレスを伝えるのも名刺の大切な役割です。

“写真入り”だから……使い方イロイロ!
顔写真を入れて⇒営業マンの印象度アップ!
商品の写真を入れて⇒商品案内としてプチカタログに変身
お店の写真を入れて⇒ポイントカード、メンバーズカードに!!



東京本社・営業部
西山 龍生
TATSUO NISHIYAMA
TEL 03-3621-7312 (直通)

ダイコロ株式会社 130-0015 東京都墨田区横綱1-11-1
TEL 03-3621-7311 FAX 03-3621-8592
H.Pアドレス http://www.daicolo.co.jp
E-mail: info@daicolo.co.jp

私が不在の場合は 水谷がお聞き致します。

ダイコロ株式会社
〒130-0015 東京都墨田区横綱1-11-1
TEL 03-3621-7311 FAX 03-3621-8592
H.Pアドレス http://www.daicolo.co.jp
E-mail: info@daicolo.co.jp

2003年度東京JC役員一覽

生年月日 会社名・役職 住所・電話 年度JC役職

正副理事長



理事長
平 将明
1967.2.21
關山邦代表取締役社長
大田区東海3-2-6
5492-3122
副理事長



直前理事長
派遣役員・日本JC副会頭
西野 晃透
1963.4.30
關ウエスタンコーポレー
ション常務取締役
江戸川区西葛西5-6-1野口
ビル 5674-8181 理事長



副理事長
濠澤 善武
1964.12.10
東邦自動車關代表取締役
大田区南蒲田2-4-15
5703-8801
經濟政策担当理事



副理事長
關賢司
1965.1.26
關プラン建設代表取締役
練馬区北町8-37-18
3931-6890
総合政策会議議長



副理事長
外山一宏
1965.5.2
關新橋商会コーポレー
ション代表取締役
港区新橋6-9-2
3438-1755
教育政策担当理事



副理事長
古谷 真一郎
1968.8.22
關ジバング・プロジェクト
取締役社長 渋谷区恵比寿
西1-14-9ブラッサム西ビル3F
5784-3675 例会特別委員会
委員長



専務理事
谷田 泰
1964.10.26
關タニタハウジングウエ
ア常務取締役
板橋区東坂下2-8-1
3968-1455
副理事長

理事



理事・国家再生特別委員長
高木 千明
1965.4.26 關ヒューマン
ウェブ代表取締役 新宿
区信濃町1-2信濃町相澤ビル
3226-4975 中野区委員長



理事・地区運動会議議長
喜多 隆正
1963.9.7 關セントラルエ
ーステート代表取締役社長 中
央区日本橋堀留町1-5-7ユー
ビル 3661-0761 地域再編
特別委員長



地区担当理事(第1地区担当)
菅原 義明
1964.11.11 (京)光林寺
住職・代表役員 港区南麻布
4-11-25 3473-2621 会員
室長



地区担当理事(第2地区担当)
小久保和浩
1967.11.30 關マウンテ
ンワン代表取締役 中央区
日本橋堀留町1-5-7YOUビル
4F 5643-2206 国際政策副
委員長



地区担当理事(第3地区担当)
木嶋 正佳
1967.11.25 關佳陽代表
取締役社長 大田区東海3-
10-3KSビル 5492-4023
環境政策委員長



地区担当理事(第4地区担当)
杉村 基
1964.8.3 現代計画關代表
取締役社長 杉並区下高井
戸2-12-2 5300-1595 新宿
区委員長



地区担当理事(第5地区担当)
相澤 弥一郎
1970.8.31 樺興産關取締
役 杉並区阿佐ヶ谷北1-6-5
3339-4338 総務渉外委員長



理事・会員室長
松本 直勝
1967.4.6 關トナミ商事専
務取締役 新宿区新宿1-31-
4-602 3354-1901 葛飾区
委員長



理事・NPO連携室長
高橋 克之
1966.4.17 關保険サービ
ス代表取締役 板橋区大和
町26-8 5944-7888 総合政
策会議会計幹事



政策担当理事(教育・福祉政策担当)
池田 真司
1963.7.28 共立運保關常
務取締役 船橋市南海神1-
9-1 0474-37-9055 教育政
策委員長



政策担当理事(経済・環境政策担当)
小玉 真一郎
1964.5.1 ブルデンシャル
生命保険製品川第1副部長
品川区大崎1-11-2 6F
5437-2611 NPO連携特別委
員長



政策担当理事(政治・行政担当)
小川 勝
1965.5.20 關三共消毒常
務取締役 品川区東大井5-
26-22 3474-2741 環境政
策担当



政策担当理事(国際政策担当)
大石 哲也
1965.3.23 大栄歯科産業
關東京営業所長 台東区駒
形1-5-6 5F 5828-0024
国際政策副委員長



理事・例会特別委員長
深野 重人
1965.7.24 關クリーニ
ングふかの専務取締役 渋谷
区上原1-18-7 3485-3455
福祉政策委員長



理事・財務特別委員長
石関 一徳
1964.10.29 關セキュリ
ティハウス取締役 豊島区
池袋2-52-8大河内ビル
3590-0110
第5地区担当理事



理事・総務・情報室長
西村 剛敏
1966.5.14 明成建設工業
關専務取締役 中野区沼袋
1-14-10 3389-2571 広報
特別副委員長

会務委員長



会員支援委員長
横瀬 順一
1965.7.18 關トップス営
業部課長 中央区八重洲2-
6-5 八重洲五の五ビル
3272-4691 会員増強副委員
長



NPO連携委員長
杉山 賢二
1963.9.29 スギコー關代
表取締役 品川区旗の台6-
20-3 3786-4183 NPO連携
特別総括幹事



教育政策委員長
二神 英治
1967.8.22 關マルサヤ代
表取締役 大田区西糀谷3-
3-12 3742-2266 教育政策
副委員長



福祉政策委員長
伊藤 肇
1966.12.30 公認会計士
伊藤肇事務所公認会計士
世田谷区站6-26-35 3417-
0732 福祉政策総括幹事



経済政策委員長
小倉 謙
1968.10.27 關エスアンド
エフ常務取締役 川崎市宮
前区鷺沼3-1-16 044-888-
1725
經濟政策総括幹事



環境政策委員長
佐藤 宏
1963.9.1 關セントラルエ
ーステート営業企画室長 中央
区日本橋堀留町1-5-7 3661-
0761 經濟政策委員



政治・行政政策委員長
長谷川 哲也
1963.1.11 ソニー生命保
険關新宿第9PG支社スペシ
ャルライフプランナー 新
宿区西新宿2-4-1新宿NSビル
10F 5321-5811 政治・行
政政策総括幹事



国際政策委員長
小川 恵司
1965.7.27 のぞみ総合法
律事務所弁護士 千代田区
麹町3-3丸増麹町ビル8階
3265-3851 国際政策総括幹
事



わんぱく相撲委員長
杉山 正純
1963.9.29 杉山建設工業
關専務取締役 墨田区押上
2-19-20 3624-5511 第6地
区担当理事



総務渉外委員長
中本 晴朗
1965.4.8 ユキ・コーポレ
ーション代表取締役 大田
区新蒲田1-6-2 5710-3153
大田区委員長



広報情報委員長
松本 正一郎
1966.1.7 (資)松本石材
店有限責任社員 大田区大
森北4-23-12 3766-1114
広報特別副委員長

監事



監事
田中伸一
1963.10.14
北山ハウス産業取締役統
括部長
渋谷区道玄坂2-3-2大外ビル4F 3770-0321
副理事長



監事派遣役員
JCI・APDC 議長
山田幸恵
1963.4.24
㈱ABITA代表取締役
台東区入谷1-10-7
5287-5771 日本JCI国際
アカデミー委員長



監事
藤川毅
1963.3.30
トーガドエナジー㈱代表取
締役社長
大田区北千束1-4-6
5701-1111
日本JCJCI関係委員長

派遣役員



日本JCビジネスアカデミー派遣委員長
富岡 洋一
1965.2.11
㈱中央商事常務取締役
杉並区天沼3-30-40フヨウ
ハウス101 3391-2616
制度改革推進会議議長



東京ブロック協議会副会長
田辺真一
1963.4.2
㈱ライロ代表取締役エグゼ
クティブプロデューサー
文京区白山4-36-2カサライ
口1a 3941-1600
広報特別委員長

地区委員長



千代田区委員長
森山裕之
1966.9.23 ㈱アネシス取
締役社長室長 千代田区神
田小川町3-12三井住友銀行
神田ビル 3292-0181 千代
田区副委員長



港区委員長
石渡美奈
1968.2.26 ホッピービバ
レッジ㈱取締役 港区赤坂
2-15-12 3583-8255 港区
総括幹事



新宿区委員長
渡邊雅敬
1964.6.19 渡邊商事代表
者 新宿区若松町6-1
3341-9418 新宿区副委員長



中央区委員長
永塚 良知
1965.3.30 田坂・永塚法
律事務所弁護士 中央区新
川1-1-7新川ビル8F 3551-
5145
環境政策副委員長



文京区委員長
梅澤 健祐
1963.2.26 光和総合法律
事務所パートナー弁護士
港区赤坂4-7-15陽栄光利ビル
5562-2511 文京区総括
幹事



台東区委員長
浦井 宏昌
1966.8.19 ㈱和久元代表
取締役社長 台東区東上野
1-10-3 3833-8831 台東区
副委員長



品川区委員長
小安桂
1967.9.13 ㈱たぐち専務
取締役 品川区西五反田1-
28-4 3490-5551 会員研修
副委員長



大田区委員長
高尾秀章
1964.4.13 石黒保険商事
㈱ 港区芝大門2-4-5芝ダイ
ヤハイツ606 5405-8877
大田区総括幹事



目黒区委員長
青柳央輔
1966.7.24 ㈱森家課長
品川区中延6-4-7 3787-
8616 目黒区副委員長



世田谷区委員長
小村峰之
1965.8.31 ㈱コムエー
ジェンシー代表取締役 世田
谷区用賀4-10-3 5717-0008
世田谷区副委員長



渋谷区委員長
鈴井 桂司
1970.10.29 ㈱メディ
ア・ラボ代表取締役 豊島
区東池袋5-1-3-1F 5979-
5127 渋谷区会計幹事



中野区委員長
杉山 鉄郎
1971.2.7 帝都博善㈱取締
役 中野区江古田2-23-7
3388-4187 中野区総括幹事



杉並区委員長
熊倉 健介
1964.8.5 ㈱熊倉不動産主
任 杉並区浜田山3-32-6
3303-6111 杉並区副委員長



練馬区委員長
戸田了達
1970.6.14 (宗)妙福寺副
住職 練馬区南大泉5-6-56
3978-0111 練馬区書記幹事



豊島区委員長
長橋昌也
1965.5.17 ㈱旭紙工所代
表取締役社長 豊島区西巢
鴨2-34-15 3918-8821 財
務特別副委員長



板橋区委員長
石原俊也
1965.3.16 石原法律事務
所弁護士 千代田区九段北
4-1-5市ヶ谷法曹ビル204
3230-4028 板橋区副委員長



北区委員長
大石隆太郎
1966.10.28 ㈱王子タオ
ル専務 北区王子本町1-28-
8 3909-1851 北区総括幹
事

会議



わんぱくNPO化検討会議議長
下村 託
1967.10.16 下村石膏㈱
取締役社長室長 文京区本
郷3-16-1 3813-6789 国際
政策委員長



公会計検討会議議長
田上 睦美
1966.9.28 ㈱オフィスエ
ム代表取締役 文京区本駒
込6-13-12大和郷ハウス403
3945-8255 経済政策委員長



財政構造検討会議議長
細谷 晶
1963.12.13 ㈱細谷本店
代表取締役 墨田区東向島
6-2-13 3610-2121 財務特
別委員長



足立区委員長
山田義徳
1970.12.22 商業企画印
刷㈱ 足立区六町3-5-18
3883-9227 足立区副委員長



墨田区委員長
片山真一
1966.9.11 ㈱陣田屋商店
専務取締役 墨田区東駒形
1-6-1 3626-1135 墨田区
副委員長



荒川区委員長
横田 剛一
1964.9.20 ㈱T.G.Sブラ
ンニング代表取締役 荒川
区荒川6-44-10-1F 3895-
3318 荒川区副委員長

副専務



江東区委員長
笹木真夕子
1966.11.15 明治生命保
険(相)ファイナンシャルプラ
ンナー 中央区銀座2-5-11
銀座大成ビル6F 3566-8872
江東区副委員長



江戸川区委員長
田辺稔晴
1965.4.7 アイクス㈱代表
取締役 江戸川区北小岩3-
13-10 3650-3146 江戸川
区総括幹事



葛飾区委員長
齊藤徳行
1968.2.5 ㈱大徳工務店専
務取締役 葛飾区堀切4-53-
3 3690-0286 葛飾区総括
幹事

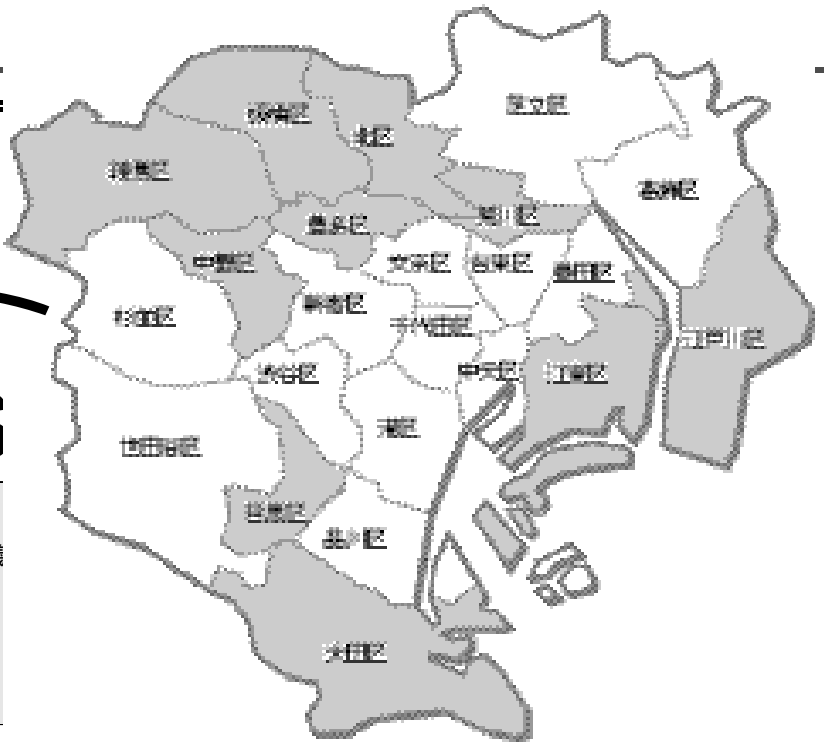


副専務
家田 裕光
1963.3.14 ㈱日進社東京
支店常務取締役支店長 千
代田区神田須田町1-5-4新須
田町ビル9F 5294-0671 千
代田区委員



副専務
丸山明彦
1963.8.13 ㈱花恭丸山商
店取締役 台東区松が谷2-
31-11 3841-3853 日本JC
オンリーワンのまちづくり
推進委員会副委員長

地区委員会 事業レポート Reports



東京JC地区委員会事業は……
それぞれ地域の問題点と特色を調査し、議論に議
を重ねた上で開催にこぎつけた、いわば東京JC
活動の原点がここにあります。
是非足をお運びください。

大田区 フォーラム「大田・経済コミュニティ2002」～観光が大田を変える～

9月19日、区議、行政、関係諸団体、NPOをはじめ一般市民の多数の参加を頂き、開催したフォーラムでは、観光をツールに「魅力あるまちづくり」と地域経済の活性化を目的とし、具体的に観光事業の組織作りを通し、地域コミュニティの連携による市民参加型の運動の必要性と意義を発信することができた。またアンケート結果及び閉会後の反響から、本事業に対する市民の関心の高さとニーズの多さを再認識できた。改めて、JCに寄せられる役割と期待の大きさを感じさせる事業であった。
大田区委員会 委員長 中本晴邦



板橋区 地域で育む「公開授業」

板橋区委員会では本年9月21日(土)板橋区立板橋第九小学校において、地域で育む「公開授業」を開催致しました。地域連携型教育システムの構築を目指し、小学校を中心とし地域で活躍をされ



ている方々を講師としてお呼びし、2時間の公開授業を通して自己責任の自覚や地域教育力向上の為に、地域への積極的な参加を呼びかけて頂きました。今後は当日出来上がった連携と同様の連携を区内他地域へ展開すべく運動を行っていきます。

板橋区委員会 委員長 佐藤勝也

北区 「地域教育in北区 - 地域が支える教育 - 」

9月20日、区立小中学校長、学校評議員、PTA会長を始め、区内教育関係者約120名の参加を得て開催することができました。「心豊かに暮らせる地域社会、学校を通じて地域社会が変わっていく」。その一石として「学校評議員制度」に着目し、理念通りに機能させるため、学校評議員自身が期待される役割を自覚し、民間、行政夫々がそれを支援する環境づくりに取り組むことが重要性であると参加者のコンセンサスを得ることができました。

北区委員会 委員長 小澤 徳



中野区 新経済市民アカデミー in 中野

中野区委員会では、本年度事業「新経済市民アカデミー in 中野」を9月13日(金)の教室学習と9月27日(金)の社会体験実習という部構成で展開しました。家庭での事前学習と我々中野区委員会メンバーが教師となった教室学習、実社会での経験である社会体験実習の相乗効果により、家庭での教育に対する意識改革を促し、地域への関心を高め、地域と学校双方の活性化を促すきっかけ作りができたのではないかと考えています。

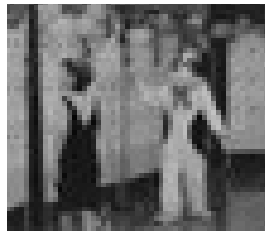


中野区委員会 委員長 高木千明

防災フェスティバル目黒vol.2

目黒区委員会は10月20日の日曜日、目黒区立原町小学校において防災フェスティバル目黒vol.2を開催、参加した子ども達は約150名、全体の参加人数は300名を超える盛大な事業となりました。災害時に行政が対応できない初期防災には日頃の近隣交流が重要であると提言した昨年の事業を引き継ぐと同時に「地域コミュニティ育成会議」のひとつとして、区役所や消防署、地域団体そして学校PTA等多くの団体との連携を具体化する目的を達成できたと確信しております。

目黒区委員会 委員長
下村 旭



「KOTO寺子屋 ～地域民間の先生 教壇に立つ～」

平成14年9月18日から20日までの3日間、江東区内7中学校参加による江東区委員会主催の事業「KOTO寺子屋～地域民間の先生 教壇に立つ～」が開催されました。

3日間で39業種74名の民間ボランティア講師の方が74クラス総計2000名の生徒のために江東区委員会が掲げた「夢・希望・将来 そして目標を…」のメッセージのもとそれぞれの講義を行いました。

江東区委員会 委員長 藤井達也



「クリエイティブ ARAKAWA」

私ども荒川区委員会では、本年9月7・14日に区内小学校にて小学生先生によるIT講習会を行い、世代を超えたコミュニケーションを体験させました。また9月21日にはフォーラムを行い、上記報告会及び「小学校を核とした地域活性化」についてのパネルディスカッションを行い、地域コミュニティの活性化についての具体的な手法を紹介しました。

荒川区委員会 委員長 村越裕之



ねりまエコバッグ大作戦2002

「ねりまエコバッグ大作戦2002」はさる10月5日(土)に光が丘IMA専門店街と田柄中央商店会の2ヶ所によって開催されました。当日は、天気もよく多くの市民の皆様が参加して頂き、開会前から参加を待つ市民の行列が出来るほどで用意した2000枚のエコバッグはあっという間に無くなってしまいました。市民の皆さんがグリーンコンシューマー宣言をしている姿や配布したエコバッグを持ってレジ袋を使わない買い物をしている様子を見て、主催者として感激に浸ることが出来ました。

練馬区委員会 委員長 河野孝史



「第3回EDOGAWA社会体験実習」

生徒達に職場を体験させ、将来の自分自身の「夢」や、人と人とのふれあいを通して挨拶・礼儀など社会における基礎を再認識してもらうと共に、「ひろげよう 地域教育 心の輪」をテーマに学校と地域のコミュニケーション図り、行政・学校・地域三者が、より協調、連携し、開かれた学校の実現を目指し、江戸川区内4校で開催しました。今後、さらに各連携を強化し、受入事業所バンクリストと開催マニュアルを完成させ、希望する学校すべてで開催できる仕組みを築いて行きたいと思っております。

江戸川区委員会 委員長 鶴ヶ谷篤史



「SUPPORT TOSHIMA 経済活性プログラム」

東京JC豊島区委員会、商店街を核として地域コミュニティの活性化を図ることを目的として、10月28日(月)に「SUPPORT TOSHIMA経済活性プログラム」を開催致しました。基調講演、JCからのプレゼンテーション、全参加者によるワークショップと3部構成の事業を終え、ご出席いただいた一般の方の約65%に「商店街に対する見方が変わった」という回答を頂戴し、開催した意義を感じることができました。

豊島区委員会 委員長 曾田 究



委員会便り

広報特別

広報特別委員会委員長 田辺眞一

本年度、広報特別委員会は、「粋でホットな TOKYOJCネットワークズ～For Better Tokyo JC Net-worker Communications」をスローガンに、JC運動の広報PR活動を行ってきました。少人数でスタートした当委員会ですがモチベーションの高いメンバーが次々と集まりました。



- ・東京JCニュース～Let's Tokyo JC's Hot!～の発行
- ・東京JCホームページ(～Yes! Tokyo JC's Two-way Communication!～)の運営

- ・Tokyo JCメールマガジン(～Hello! Tokyo JC's Information～)の配信
- ・コーポレートプロフィール(～Look! Tokyo JC's Identity～)の発行

新しい試みであるメルマガ発行は、東京JCの志の発信と例会などへの誘因に寄与し、新たな道を確立しました。またホームページのコンテンツの充実によりアクセス数の大幅な増加は入会希望者の主要な経路のひとつとなりました。活動の成果を来年に繋げていかなければなりません。2003年度も、東京JC内外を情報で結ぶハブとして一同団結して活動して参ります。

財務特別

財務特別委員会委員長 細谷 晶

財務特別委員会は皆さんの会費がどのように運動に使われているかを審査します。



社団法人である東京青年会議所は全て予算で動きますが、予算は一度理事会で審議可決されますと正当な理由が無ければ変更できませんし、実際の事業では適正な予算の執行が要求されます。折角行った事業も予算どおりに決算が為されていない場合はどんなに素晴らしい事業でも評価は下がりますし、場合によっては理事会で否決され事業費が支払われない場合も出かねません。予算項目に無い支出や収入、科目間の資金の流用などは皆さんの会費をいい加減に使ったと考えられるからです。

今の時期次年度に向けた事業の構築をしていると思いますが、その際には是非予算の重要性を皆さんで確認していただきたいと思っております。

わんぱく相撲特別

わんぱく相撲特別委員会委員長 武田康之

わんぱく相撲は、子供達が日本の国技・伝統文化である相撲を通して「勝負の厳しさ」「礼節」「相手を思いやる気持ち」を学び、心身の鍛錬や健康の増進を図り、心豊かな青少年の健全育成を基本目的として1975年に東京JCにより開始され、その運動精神と目的に賛同した全国各地のJCに広く普及してまいりました。



2002年度は「ひろげよう 心にとどく ありがとう」のテーマの下に全国271箇所において「わんぱく相撲地区大会」が開催され、更に18の各ブロック大会、7月には「第18回わんぱく相撲全国大会」が開催され、全国各地で55000人のわんぱく力士が活躍いたしました。我々青年会議所では、わんぱく相撲大会に参加する子供達のみならず、応援する保護者や運営に携わる全ての人達に対して「生きていく為の様々な人との関わり合い」を認識してもらい「生きる力」を育む教育を行うのと同時に、地域社会においての連携を図り「社会モラルある行動する人づくり運動」の推進を行ってまいりました。

2003年度は更なる発展をする「わんぱく相撲」に御期待ください。

総務渉外

総務渉外委員会委員長 相澤称一郎

私たち総務渉外委員会は、日ごろ東京JCの運営にかかる総務機能と他LOMなど各種渉外の機能を有する委員会です。東京JCの基礎となる運営を年間を通じて担っているという自負のもと、委員会一丸となって運動の一翼を担っております。具体的には、理事会、理事協議会、総会など諸会議の運営、皆様がお持ちの基本資料の作成、他LOMとの交流促進活動、全委員会の議事録管理、趣味の会・友好の会の統括等日々行っています。



私たちの委員会は東京JCのほぼ全ての運営にかかわりますので、公益社団法人の事業の在り方を考える機会に恵まれ、多くの情報を得ることなどが、普段自分とのかかわりが少ない委員会事業など勉強することができます。また、各種会員大会などにより全国のJCメンバーとの交流、東京JCの outward 者への支援事業(各種大会における設営等)など楽しい企画もあります。

当委員会は目立つことは少ないものの、私たちの青年会議所運動を運営の立場から支援することが責務であり、誇りとして存在しています。

どうかこれからもメンバー一人ひとりのご理解とご協力をお願いいたします。

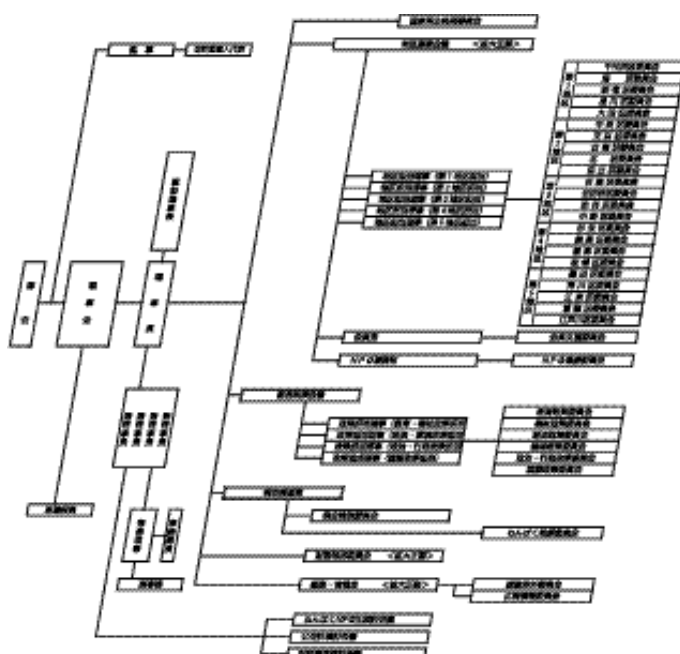
会員増強

会員増強委員会委員長 表 広一

日頃から会員拡大、増強運動を推進していただきありがとうございます。2002年度も残すところ2ヶ月を切り、次年度への引継ぎなど年末に向けて忙しい毎日をお過ごしのことと思います。本年度会員増強委員会は、「新入会員数の拡大」また「アクティブにJC運動を推進するメンバーの増強」を目標に掲げて活動してまいりました。会員室としては、2月例会「成功の方程式 勝利する企業家になるために」を担当し、株式会社フォーシーズの浅野秀則社長の基調講演、第2部では地区委員会を代表して委員長によるパネルディスカッションを行ない2002年度の活動方針、今後の委員会の運営方法などを熱く語っていただきJCメンバーの運動意識の向上に向けて非常に気持ちの入った例会となりました。全2回の拡大協議会では、新入会員拡大のみでは無く、例会特別委員会、広報特別委員会と連携して会員増強を目的とした企画を展開し、今後に向けての運動の広がりが期待できる結果となりました。会員拡大、増強運動は常に継続して行なう事が非常に重要です。今後も引き続き各委員会、JCメンバーの運動の支援を行なってまいります。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



東京JC 2003年度 組織図



11月例会

今、動き出す「志民社会」 NPOアワード2002

東京青年会議所11月例会は、「今、動き出す『志民社会』NPOアワード2002」をテーマに、NPO連携特別委員会(小玉真一郎委員長)主管で、次の通り開催される。

11月例会

今、動き出す「志民社会」NPOアワード2002
2002年11月29日(金)午後5時30分～9時
京王プラザホテル「コンコードボールルーム」

講師	・ワタミフードサービス株代表取締役社長 渡邊美樹氏	内容	基調講演・渡邊美樹社長、 テーマ「NPOが生き生きと活動する社会 が理想の社会」 8つのNPO団体による最終審査プレゼン テーション JC政策提言プレゼンテーション NPOアワード(各賞授与)
審査員	・NPO法人日本NPOセンター常務理事・山岡義典氏 (財)安田火災記念財団専務理事・田中皓氏 松蔭女子大学教授・雨宮孝子氏 東京都生活文化局より1名 日本経団連1%クラブより1名 東京青年会議所理事長・西野晃透君		



渡邊美樹氏

12月例会<クリスマス・卒業式例会>

「今、動き出す志民社会」 から2003年へ

ショータイムは
世良公則
アコースティックライブ



東京青年会議所12月例会は「クリスマス・卒業式例会」として、例会特別委員会(古谷真一郎委員長)主管で次の通り開催される。

2002年12月14日(土)午後5時30分開会
午後4時30分卒業生記念撮影、登録開始
京王プラザホテルコンコードボールルーム

登録料：メンバー 26,000円
同伴者 20,000円
子供 10,000円

- 内容
- 第1部 例会セレモニー(理事長挨拶、2002年度活動報告VTR上映)
 - 第2部 アワードセレモニー(最優秀活動賞、最優秀新人賞などの発表と表彰)
 - 第3部 ディナータイム(シニアクラブ世話人代表挨拶及び乾杯)
 - 第4部 ショータイム(世良公則氏によるアコースティックライブ)
 - 第5部 バトンタッチセレモニー(2002年度正副理事長挨拶と2003年度正副理事長紹介)
 - 第6部 2002年度卒業式(昭和37年生れの卒業生108名を送る)

第108回 定時総会お知らせ

(社)東京青年会議所第108回定時総会は、11月29日午後3時30分から京王プラザホテルで開催され、次の議案が上程される。

- 第1号議案 社団法人東京青年会議所「理事及び監事選任に関する規則」変更(案)承認に関する件
- 第2号議案 同「会員に関する規則」変更(案)承認に関する件
- 第3号議案 同「賛助会員に関する規程」設定(案)承認に関する件
- 第4号議案 同「賛助会員に関する細則」設定(案)承認に関する件
- 第5号議案 同特別会計「青少年スポーツ事業会計」に関する規程廃止(案)承認に関する件
- 第6号議案 同特別会計「社会貢献会計」に関する規程設定(案)承認に関する件
- 第7号議案 同基金会計「社会貢献基金会計」に関する規程変更(案)承認に関する件
- 第8号議案 2002年度社団法人東京青年会議所特別会計「特別会員会計」修正収支予算(案)承認に関する件
- 第9号議案 2003年度社団法人東京青年会議所役員(案)承認に関する件
- 第10号議案 同事業計画(案)承認に関する件
- 第11号議案 同収支予算(案)承認に関する件
- 第12号議案 同特別会計「特別会員会計」収支予算(案)承認に関する件
- 第13号議案 同特別会計「社会貢献会計」収支予算(案)承認に関する件
- 第14号議案 同基金会計「社会貢献基金会計」収支予算(案)承認に関する件
- 第15号議案 同特別会計「収益事業会計」収支予算(案)承認に関する件



TOKYO JC NEWSは
環境対応大豆油使用
インキを使用しています



TOKYO JC NEWSは、
古紙配合率100%再生紙を
使用しています。